令和８年３月15日発行（毎年7月・10月・12月・3月発行）

春
第171号

おちあい

責任者　佐藤　欣也　企画・編集　落合第二地域センター管理運営委員会　広報部
〒161- 0032　新宿区中落合4丁目17番13号　Tel. 03-3951-9941　Fax. 03-3951-9310

第３回ランタンアートフェスティバル
２月21日(土)～22日(日)　中井駅南口駅前広場

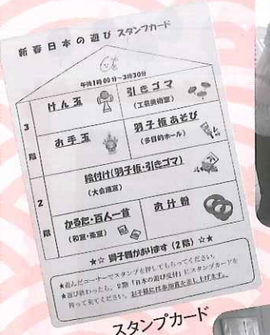
関連記事はP.4です。

新春日本の遊び

一月十日（土）午後一時～三時半、晴天に恵まれ、新春日本の遊びが開催されました。

二階で受付をした後、会議室で羽子板と引きゴマの絵付け、和室と茶室では、かるたと百人一首。今年は、かるたの種類が増えたので、昨年以上に盛り上がりました。三階のフリースペースでは、けん玉とお手玉。工芸美術室では引きゴマ。多目的ホールで羽根つきが楽しめました。

二時から、二階の小上がりで、落合囃子連合睦による、ひょっとこ、子ども囃子、獅子舞いが披露され、大勢が詰めかけました。家族連れを始め、観客は、福をもらおうと競って獅子に噛んでもらいました。その後、温かいお汁粉がふるまわれ会議室でいただきました。スタンプカードにすべてスタンプをもらうとお子様にはお菓子のお土産がありました。二七七名の来場がありました。



スタンプカード

けん玉

引きゴマ

お手玉

風除室の花

絵付けした羽子板

絵付け風景

午年の羽子板

躍動的な舞い

おめでとう！

子ども囃子

羽根つき

ひょっとこ

お汁粉をいただく

獅子に噛んでもらう

ちょっと怖い…

かるた

百人一首

染の小道

二月二十日（金）～二十二日（日）開催

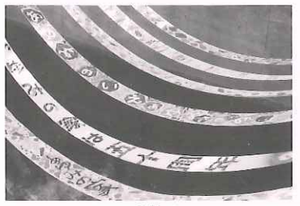
二〇〇九年以来、歴史ある染色の技と現在の感性が融けあい、新たな染めの風景を生み出してきました。

反物を川に架ける「川のギャラリー」、商店街の軒先を作家が染め上げたのれんで飾る「道のギャラリー」を柱とし、小学校や公共施設で参加する「百人染め」、妙正寺川の護岸に江戸文様を施す「護岸アートギャラリー」、染色ワークショップやトークショーを行う「染のがっこう」と広がりを見せています。来場者も増えています。

「染の街、落合・中井を盛り上げよう」と集まった地域内外の人々のつながりを中心とし、地元の商店や染色業、学校、区施設の連携によるボランティアで運営されています。

手染めの法被

染バッチ体験（ささえーる中落合）


百人染め

音の小道（スワンベーカリー）

手作り正月飾り

十一月三十日（日）、落二センター（西落合町会主催）の会場と、上落合地域交流館（上落合地域交流館自主事業運営委員会主催）の会場で開催されました。両会場とも小学五年生～大人が対象で、事前予約制。

自分で選んだ色のしめ縄に水引や、松、梅、葉牡丹、南天といった縁起ものの造花、手作りの干支や玉すだれ等、華やかなオーナメントを飾りつけました。両会場とも講師は田畑西落合町会長。「飾りの配置を少し工夫すると、ぐっと印象が変わります」等、参加者一人ひとりにアドバイス。全員が「自分だけの素敵な正月飾り」を仕上げました。

令和八年度地域センターのおもな行事

センターまつり　十一月八日（日）

新春日本の遊び二〇二七年一月九日（土）

※変更になることがあります。

「保護司」ってなあに？

「保護司」という仕事を知っていますか？「保護司」は犯罪や非行により裁判所で処分を受け、保護観察中の人が再び罪を犯すことがないように立ち直りを支えるボランティアです。

活動を知ってほしいと、地域の保護司の方から連絡をいただき、広報部会でお話を伺いました。

昨年十二月、国連総会で、日本が策定を主導した再犯防止に関する国際ルール「国連準則」が採択されました。再犯防止に効果がある「官民連携」の好例として日本の保護司制度が「ｈｏｇｏｓｈｉ」として明記されています。国際的にも注目されている制度です。

①「保護観察官」と「保護司」の違いは？

保護観察官は法務省に所属する国家公務員で、社会復帰のために指導・監督を行う専門家です。保護司は法務大臣から委託された民間のボランティアで、対象者の相談に応じたり、助言を行うなど、より生活に密着した支援をします。

②　保護司になるには？

昨年一二月保護司法が改正され、保護司の委嘱条件が、「人格識見が高いこと」「他の保護司及び保護観察官と協働して誠実かつ熱心に職務を行う意欲を有すること」「職務の遂行に必要な時間を確保できること」「生活が安定していること」「健康で活動力を有すること」に見直され、多様な保護司がそれぞれの個性と能力を発揮されることを期待していますが、特別な資格は必要ありません。これまで「近隣の保護司から依頼されて引き受ける」が殆どでしたが、「自ら希望する」ケースも増えています。保護司選考委員会が候補者を検討し、法務大臣に推薦します。

③　保護司はどんな人たち？

男性が約七割で近年女性の比率が上がっています。年齢層は六〇代から七〇代が中心です。昔は篤志家や宗教家が多く、今は会社員や主婦、公務員、福祉や教育関係者など多様です。

④　保護観察対象者について

十代の非行少年から高齢者まで全世代に亘ります。少子化で少年件数は減っていますが、大麻等の薬物犯や特殊詐欺をはじめとする匿名・流動型犯罪が増えています。一方で、高齢者の万引き、中高年の覚醒剤等の薬物犯など、働き盛り世代の再犯防止も課題です。

⑤　対象者とは「適度な距離感」で

保護司には「守秘義務」があります。「活動で知りえた個人の情報」を漏らすことは決してありません。

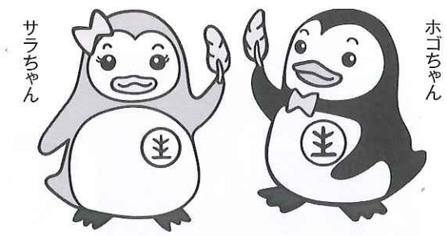
⑥　これからの課題

東京都には約三、三〇〇名の保護司がおり、落合地区が所属する新宿保護司会戸塚分区では三〇～四〇名が活動しています。分科会では困難な事例を相談したり、研修を行います。

最大の課題は保護司の「高齢化」と「なり手不足」です。地域社会のつながりが希薄になり、孤独・孤立が犯罪の背景にあることが増えています。だからこそ、地域で「お節介」を焼く保護司の役割は重要になっています。

犯罪は、遠くにあるように思っていましたが、些細なきっかけで他人事でなくなる危うい時代を私たちは生きています。地域で支えあい、再犯リスクを軽減していこうという保護司の方々の活動に敬意を表します。今後もお話を伺いたいです。

（広報部）



更生保護マスコットキャラクター

第三回ランタンアートフェスティバル

十一月二十一日(土)～二十二日(日)

今年は三回目を迎え、三三三個のランタンが中井駅南口駅前広場を飾りました。

ランタンはすべて落合地域の人々の手作りで、絵を描いたり、工作を施したり、絵手紙風、貼り絵など個性的でユニークな作品ばかり。

ドリンクコーナーの出店で暖かい飲み物などを嗜んだり、ランタン作りを楽しんだり、風に揺れるランタンに大勢の来場者が目を細めていました。

（主催／上落合中央町会、ランタンアートフェスティバル実行委員会　協力／中井商友会　後援／新宿区）

点灯式に臨む吉住区長

ユニークな作品も

ランタンを愛でる人たち

みんなでつくる参加型料理教室「西落合サロン」

みんなで作って　美味しく食べて　たのしく元気に歌う

十五年前、「高齢者の方々の集まる居場所を作ってほしい」という言葉から、区の健康部の未病のための料理教室をヒントに始まったという月一回の料理教室。高齢になると食事の支度そのものがおっくうになったり、量も少なく栄養失調になることさえあります。家に引き込もりがちな高齢者がみんなと笑顔で語り合う、そんな場所作りを目指したのです。

一月の西落合サロンに参加しました。当日のメニューは「オレンジ風味のハッシュドビーフオム、豆腐のサラダ、コンソメスープ、ずんだ餅」の計四品。みんなで分担して手際よくあっという間に仕上げました。

なんと、参加者の三分の一が男性の方。普段から簡単な調理をしているとのこと。

レストランのような食事を作り、（食べるだけの参加も可）、笑顔で食べて、最後はスタッフの伴奏に合わせてみんなで歌を歌いました。

スタッフの方々は試作、材料の買い出し、当日の準備進行、後片付けと大変な作業を毎月こなしています。「十五年前はみんなもっと元気だった」と謙遜するメンバーの志田さん。十五年の年月を感じさせない若々しさです。月に一度の料理教室が十五年も続いた秘訣をお聞きすると、代表の増田さんは「長く続けたのは楽しいから。楽しくなければ続かないわよ」とにっこり。

二十数名の参加者の中には、十五年前から参加されている方も最近参加した人もいらっしゃいました。毎月顔を合わせることで、道で会っても声を掛け合う間柄になることができます。

こんな集まりが他の地域にも広まって、長く続くといいなと思いました。

（藤川　裕子）

5周年、10周年のレシピ集

【令和七年度新宿区夏目漱石コンクール】

受賞おめでとうございます！

落二地域の生徒さんが最優秀賞！

◆読書感想文部門「わたしの漱石、わたしの一行」

中学生の部　最優秀賞

新宿区立落合第二中学校二年

元倉　稜太（もとくら　りょうた）さん

「『吾輩は猫である』を読んで」

【中学生の部（二二三作品）】

◆絵画部門「猫になって描いてみよう～わがはいはネコである～」

小学生低学年の部　最優秀賞

新宿区立落合第六小学校二年

重森　葵心（しげもり　きこ）さん

「わがはいのにぼしである。わたすつもりはない。」

【小学生低学年の部（三四三作品）】

※作品は新宿区ＨＰで閲覧できます。

令和七年度新宿区夏目漱石コンクール結果発表

漱石山房

夏目漱石が晩年九年間暮らした早稲田南町の家は、作家として本格的な執筆活動を始めた場所で「漱石山房」とよばれていました。現在は跡地に公園が整備され、書斎、客間を再現した「新宿区立漱石山房記念館」が建てられています。（新宿区早稲田南町７）

落合第二中

道徳授業地区公開講座

10月23日(木)の道徳授業地区公開講座は、初の試みとして地域・保護者の方を９名ゲストティーチャーにお招きして実施しました。授業のテーマは、１年生「勤労」、２年生「社会参画」、３年生「勤労」です。前半は担任が授業を行い、後半にゲストティーチャーから、ご自身の経験を交えたお話をいただきました。地域で活躍されている方々の「働くことの意義」や「地域への貢献」などのお話を、生徒たちは真剣に聞いていました。授業後の協議会では、講師と教職員、参加された皆様とが、道徳授業に限らず様々な内容で協議することができました。

道徳・人権担当　　寒河江 義勝

あゆみの家　中村所長（３年B組）

落合第二特別出張所　片岡所長（２年C組）

避難所開設訓練

11月１日(土)、落合親和町会、中落合三丁目辻町会、新宿区危機管理課、落二特別出張所、新宿消防署落合出張所、新宿消防団第十分団・第十二分団のご協力のもと、避難所開設訓練を行いました。当日は１年生が参加し、地域の方による「炊き出しの実演」から始まり、「仮設トイレの組み立て」、「応急救護訓練」、「初期消火訓練」の体験、備蓄倉庫や災害用優先電話の確認、家具転倒防止器具に関する学習を行いました。

当日は、生徒たちは積極的に体験に取り組んだり設備等を真剣に見学したりしており、普段の学校生活では見ることができない場面もあり大変印象的でした。

この体験を通して、いざというときには、地域の方と協力して「地域の一員」として活躍してくれることを心から願っています。

１学年主任　渡邊 和貴

仮設トイレの組み立て

応急救護訓練

落合第六小

音楽会・おちろく音楽祭

12月５日(金)・６日(土)の午前中に、落合第六小学校体育館で音楽会を行いました。「みんな笑顔で　すてきな音色を　とどける音楽会」のスローガンのもと、全校児童ががのびのびと歌ったり、演奏したりしました。児童鑑賞日の最後には、全校児童で「ビリーブ」を大合唱しました。とどいたすてきな音色の余韻が冷めないうちに、教室で各学年のよかったところをメッセージに書いて送り合いました。

６日(土)の午後は、おちろく音楽祭を行いました。「みんなで音を楽しもう、おちろく音楽祭」をテーマに、ボディパーカッションや太鼓、ハンドベルなどの演奏体験、楽器作り、ダンス、カラオケなどの発表を、縦割り班で協力して行いました。地域や保護者の皆様、卒業生もいっしょに音を楽しむことができました。

特別活動部　榊原 淳子

【音楽会　各学年の演目】

１年生　怪獣のバラード(斉唱)、オブラディ・オブラダ(合奏)

２年生　メッセージ(斉唱)、あの青い空のように(合唱)、山のポルカ(合奏)

３年生　パフ(合奏)、I Can Sing A Rainbow(斉唱)、LET' S GO ！いいことあるさ(合唱)

４年生　Smile Again(合唱)、ラ・クンパルシータ(合奏)

５年生　風になりたい(合唱)、銀河鉄道999(合奏)

６年生　アフリカン・シンフォニー(合奏)、いのちの歌(合唱)

音楽会のステージの様子

落合第五小

落五小の音楽会♪　11月14日（金）・15日（土）

３年に１度の校内音楽会。音楽科では、友達と一緒に音楽をする楽しさを感じてほしいと願って学習を進めています。音楽会では、子どもたちが学年で声や楽器を合わせたり、聴き手を意識して表現を考えたりして音楽をつくり、気持ちを込めて演奏しました。一人ひとりが目標に向かって取り組んでいたので、どの学年の演奏も思いを十分に伝えることができました。会の最後には、全校児童で「僕のこと」を合唱しました。

小さな音楽家たちによって、幾重もの芸術の波が生み出され、芸術の秋に相応しいひと時になりました。

音楽会委員長　音楽専科　野沢 祥子

【１年生】
斉唱
「うちゅうじんに会えたら」
「宇宙人のテレパシー」
「とびだせ！ロケット」
合奏
「きらきら星　変奏曲」

【２年生】
斉唱
「ことりの歌」「シャボン玉」
「夕やけこやけ」「つき」
合奏
「チキチキバンバン」

【３年生】
合唱
「地球はぼくらのたからもの２」
リコーダー奏
「レッツ ビギン」
合奏
「サンバ・ブラジル」

【４年生】
斉唱＋リコーダー
「歌のにじ」
合唱
「海がきこえる」
合奏
「ハイサイ！！沖縄」

【５年生】
合唱
「小さな勇気」
合奏
「パイレーツ オブ カリビアン」

【６年生】
合唱
「地球星歌」
合奏
「ボレロ」

落合第三小

音楽会

12月18日(木)と20日(土)に落合第三小学校の音楽会が行われました。今年度の音楽会のスローガン「落三小にひびけ　私たちの音楽」に向かい、全校が気持ちを一つに、心のこもった演奏をすることができました。子どもたちのがんばっている姿を多くの方にみていただきたい、どなたもご鑑賞いただける温かい演奏会にしたい、という思いがあり、入れ替え制のない音楽会とさせていただきました。当日はたくさんの方々に温かいご声援をいただきました。子どもたちは、これまでの練習の成果を発揮し、きらきら輝いている表情がとても素敵でした。これまで子どもたちをサポートしてくださいました保護者の皆様、地域の皆様、関係者の皆様、本当にありがとうございました。

音楽専科　石倉 朋美

装飾は図工の時間に作りました！

さすが最高学年の６年生！

架け橋プログラム

落合第三小学校ブロックでは、ウィズブック保育園中落合・キッズガーデン新宿西落合・新宿こだま保育園・新宿区立西落合子ども園・新宿区立落合第三幼稚園・ぽっぽのいえほいくえんの６園と交流しています。日常的に学校施設や授業を公開し、学習や遊びを園児がいつでも見ることができたり、校庭や体育館、屋上などで一緒に遊ぶ機会もあったりと子ども同士・大人同士が自然と関わることができる環境を整えています。懐かしい先生方や友達に会うことで、小学校への安心感が芽生えます。「いつでも遊びにいける落三小」を合言葉に園児と小学生、そして教職員同士のつながりを大切にしています。架け橋プログラムとは、文部科学省が推進する、５歳児から小学１年生までの２年間(架け橋期)における幼児教育と小学校教育のスムーズな接続を目指す取り組みです。

研究主任　小川 幸子

体育館遊び

来校

コミスポ中央大会　結果報告

12月14日(日)、新宿スポーツセンターで第45回コミュニティスポーツ中央大会が開催されました。ビーチボールバレー・ユニカール・輪投げ(60歳以上の部・一般の部)・ボッチャの4種目が行われました。

【落合第二地区からの出場チーム】

ビーチボールバレー	：ビスケッツ(準優勝)
ユニカール	：ロコロコソラーレ、チームおぢさん、チームをぐらやま
輪投げ(60歳以上の部)	：西落合クラブA(準優勝)、西落合クラブB、西落合クラブC
輪投げ(一般の部)	：ズッコケ少年隊、すえっきーず
ボッチャ	：ミンミンCh、アラフィフ

少年野球チーム ジュニアファイターズ優勝

令和7年度 落合リーグ

高学年の部 優勝・低学年の部 優勝

※落合地区の各4チーム 高・低学年の総当り戦を1年間で行う。試合は複数日。共に西落合グラウンド。

第45回 四区親善少年大会低学年 優勝

令和7年12月7日(日)杉並区内のグラウンド

落合第二地区青少年育成委員会

○おちあいこども川柳カレンダー

恒例となりつつある落合第二地区の小・中学生が考えた川柳を掲載したカレンダーを作成、配付しました。

本年は、583人の児童・生徒が参加、かわいらしいものから大人顔負けのものまで、思わず心を奪われるような素敵な川柳であふれたカレンダーです。

○スポーツ大会・ボッチャ

3月1日(日)に落合第二中学校の体育館でスポーツ大会・ボッチャを開催しました。

当日は、多くの児童・生徒、その保護者が参加、みんなでボッチャを楽しみました。

ご卒業おめでとうございます 令和７年度 卒業予定者数

学校名	人数
落合第一小	89
落合第二小	71
落合第三小	58
落合第四小	57
落合第五小	43
落合第六小	48
落合中	85
落合第二中	111
新宿西戸山中	150

令和8年2月1日現在

令和7年度新宿区高齢者クラブ連合会 輪投げ大会

12月5日(金)に新宿スポーツセンターで開かれた輪投げ大会(総勢46チーム・230名が参加)で落合第二地区で活動する「西落合クラブ」が令和6年度に続き、連続優勝しました。おめでとうございます。

西落合クラブメンバー：(敬称略)
多田、篠田、栗田、貫井、岩崎

落合さくらまつり
～落合第二地区町会連合会主催～

3月28日(土)10：00～ 14：00(雨天決行)に西落合公園で落合さくらまつりを開催します。詳細は、町会掲示板や右のQRコードからご確認ください。

(落合第二地区情報ホームページ https://ochi2.jimdofree.com)

※町会による模擬店販売(やきそば、おでん、フランクフルト、豚汁、おしるこ、お菓子すくい、チキンナゲット等)はなくなり次第終了します。